

昨 10 日、家内が偶々目に付いた日帰りバス旅行の「都内 10 箇所櫻見学ツアー」に参加した。天気は快晴、気温もまずまず、何よりも都内の桜は幸いなるかな満開を予感させる。最高のバスツアーになる筈であったが、出鼻を挫かれた。会社からの F A X で示された集合場所には僕等の他に一組のみ、可笑しいと思って連絡すると集合場所が違うと言う。慌ててそこに行った次第、責任者が誤るではなく、然も我々が悪いかのような対応、ガイドは迷子になった人が居てとか言うので、流石の小生も終には切れて、声を荒げて抗議をした。もう二度と当該会社を使うことはあるまい。

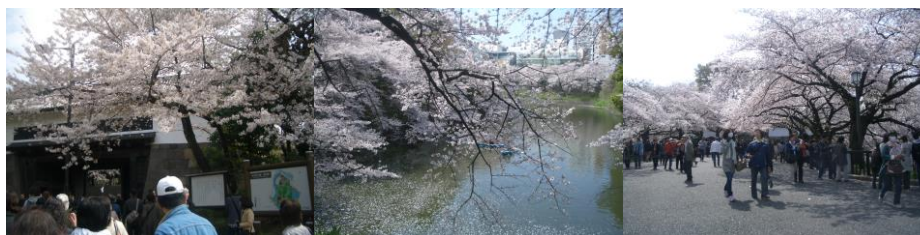
#### 閑話休題

以下順次に、散策した名所或いは車窓からの眺めた桜スポットを簡単に紹介する。

#### ①北の丸公園

昭和 30 年代に桜が植栽され、都心でも有数のお花見の名所。池や芝生の美しい緑あふれる園内に、ソメイヨシノが約 330 本植えられている由。

圧巻は、九段坂から田安門（江戸城最古の門）に至る桜並木は素晴らしい。また、国立近代美術工芸館近くの交差点の枝垂れ桜にも目を奪われた。



#### ②靖国神社

靖国神社は都内有数の桜の名所でもあり、また東京の桜の開花の基準となる標本木でも知られて居る。ソメイヨシノなど約 800 本の桜が英霊を慰めている。思いを込めて参拝する。



#### ③千鳥が淵

靖国神社から歩いて千鳥が淵遊歩道に向かう。約 700m の遊歩道にはソメイヨシノ、ヤマザクラ、オオカンザクラなど約 260 本のサクラが花のトンネル形作って居る。堀の水面

に映る桜とボートのコントラストが一幅の絵になる。人混みに歩くのも儘ならぬ。



#### ④国立劇場（車窓から）



国立劇場の前庭には、駿河桜、仙台屋、神代曙、八重紅枝垂、小松乙女、関山、などの珍しい桜が、ある。隠れた名所である。半蔵門附近の千鳥が淵の桜と共に小生の春の散策コースにもなっている。写真は4日撮影

#### ⑤外濠通（車窓から）

J R 四谷駅から J R 飯田橋までの間の外濠通りには180本の桜が、鉄道沿いの堤の上は外濠公園遊歩道であり、約300本の策がある。若かりし頃には、この遊歩道で花見に興じたものである。電車の車窓からも素晴らしい。

#### ⑥憲政記念館（車窓から）



憲政記念館のある高台は、江戸時代の初めには加藤清正が屋敷を建て、その後彦根藩の上屋敷となり、幕末には桜田門外の変で暗殺された大老井伊直弼が居住し、後に明治時代になってからは参謀本部・陸軍省がおかれていた。ここも小生の昼の散歩コースである。

写真は大寒桜（3月1日撮影）

#### ⑦霞ヶ関官庁街、日比谷公園及び愛宕神社（車窓から）



霞ヶ関官庁街特に外務省のある塩見坂は知る人ぞ知る桜の名所である。日比谷公園は花の公園として知られるが桜は60本と意外に少ない。愛宕神社は寛永の三馬術馬垣平九郎の出世階段と NHK 放送博物館で名高い。愛宕山頂にて（4月8日撮影）

#### ⑧芝増上寺

徳川家の菩提寺である増上寺にも参詣をかねての花見客が多い。東京タワーや増上寺が小生昼の散歩コースの南西の限界地である。



#### ⑨浅草寺



雷門で有名な日本を代表する浅草寺、人手は尋常ではなかった。ガイドの浅草寺本尊の聖観音の秘仏に係る話を聞いて、二天門から境内に入り参拝する。

#### ⑩隅田川



8代将軍・徳川吉宗が庶民にも花見ができるようにと開放した由緒ある地である。隅田川の桜橋から約1kmにわたり、335本余りのサクラが満開を迎え、見事なサクラのトンネルの由。対岸に渡る時間なく、向島芸者衆のもてなしを受けられなかったのが残念。屋形船や水上バスから風情ある桜並木を眺めるのもオススメとのこと。滝廉太郎の「春」の碑がある。

#### ⑪上野公園と不忍池

ツワールの最後は、不忍池を車窓から眺めつつ上野恩賜公園に到着、解散である。上野公園は、言わずと知れた、江戸時代、寛永寺の建立後に天海僧正が境内に多くのサクラの木を植えたことが始まりの歴史あるサクラの名所。総面積約35万㎡の広々とした園内一帯には、染井吉野を中心に、大寒桜、山桜など約1,000本のサクラが一斉に咲き誇る。



ツワー会社には不満はあるが、桜は十分に堪能した。被災地にも桜の咲く春が来るを願い！

(了)

